

これらの設立動機に共通してみられる点は、当時の幼児のあり方を憂い、正しい教育が与えられねばならないと考えた有識者の努力と、前述した京都市の場合と同様に幼稚園が必要なものと考えられてきたことである。またキリスト教主義の幼稚園がみられることや、貿易港という特殊な条件から生じる貧民の子どもの収容を考えたことなど、神戸市らしい性格がみられる。

そして神戸市とその周辺の幼稚園は、幼児教育への熱意にあふれており、特に、東京女子師範学校の卒業生で初代の兵庫幼稚園々長であった望月クニは、幼児教育も一貫した科学性をもって行なわれるべきであると考え、幼稚園関係者のなかで、教育学、心理学などの研究を積極的におしすすめてゆくことに努力した。この、幼児研究、保育研究の動きは、県下の幼稚園のつながりをつよめ発展に寄与すると同時に、三十年代に入るとまもなく、京都、大阪、神戸の三市をつなぐ動きとなり、三市連合保育会として幼稚園史上に大きな足跡を残すことになるのである。

(豊田)

*

*

*

*

*

*

*

予

告

日本保育学会

第十五回大会

会期 昭和37年5月

19(土) ~ 20(日)
日

会場 愛知文化講堂

第十一回

教育実際指導研究会

会期 昭和37年6月

1(金) ~ 3(日)
日

会場 お茶の水女子大学

付属幼稚園

主催 お茶の水女子大学付属幼稚園

幼児教育研究会

幼児の教育 第六十一巻 第四号

四月号 © 定価六〇円

昭和三十七年三月二十五日印刷
昭和三十七年四月 一日発行

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学付属幼稚園内

編集兼 津 守 真
発行者

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学付属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都板橋区志村町五

印刷所 凸版印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社フレール館

振替口座東京一九六四〇番

◎本誌ご購入についてのご注文は発売所フレール館にお願いいたします。